

充電式 インパクトレンチ12.7mm角(1/2DR) 取扱説明書

18Vリチウムイオン電池パック

UB18VIWBL320BFS 50/5.0BPCG





もくじ

安全上のご注意	1~6
各部のなまえとはたらき	7~8
ご使用前の準備	
電池パックを充電する	9~12
充電器を固定して使用する	13~14
先端工具の取付け・外しかた	15
フックの取付け・取外しかた	16
ご使用方法	17~22
電池パック・充電器について	23
お手入れ・保管	24
故障かな?と思ったときに	25~26
仕様	27
修理について	28



- このたびはUBERMANN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいて正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。




- いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※表記内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や、傷害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることや、可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が傷害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

- ※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。
※お守りいただく内容は下記の図記号で表示しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

 警告	
 禁止	●換気の良くない場所での充電はしないでください。
	●可燃性の液体ガスのある場所で使用したり充電したりしないでください。 ※発熱・発火・発煙・破裂のおそれがあります。
 実行	●作業箇所に電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分確認ください。 ※埋設物に触れると感電や漏電、ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤーマフ）などの防音保護具を着用してください。 ※守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	●作業時は保護メガネを使用してください。及び粉塵が多い作業または環境では、防塵マスクを併用してください。 ※守らないと目、喉に傷害を受けることがあります。
	●作業する場所は十分に明るくしてください。 ※暗くて視野が悪いと、事故やけがの原因になります。
	●加工物はしっかりと固定してください。 ※不意に動き、けがををするおそれがあります。安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	●作業する場所はキレイに保ってください。 ※散らかった場所部材が散乱していると事故の原因になります。
●取扱や作業方法、周りの状況などを十分注意して、常識を働かせて作業をしてください。 ※守らないと事故やけがのおそれがあります。	

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 屋外での作業の場合は、滑らない履物を使用してください。
※守らないと滑ってけがの原因になります。
- 衣服や髪・アクセサリーなどが、巻き込まれないような服装で作業してください。
※守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は帽子や、ヘアバンドなどで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどは着用しないでください。
- 高所作業時は、墜落防止用器具を使用してください。
※下に人がいないことを確認してください。守らないと事故のおそれがあります。

⚠ 注意

⊘ 禁止

- 子供の手の届くところに置かないでください。
※事故やトラブルのおそれがあります。
- 子供などの作業員以外を作業場に近づけたり、先端工具や充電器に触れさせたりしないでください。
※けがのおそれがあります。
- 疲れているときは使用しないでください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 無理な姿勢での作業はしないでください。
※転倒してけがをするおそれがあります。常に足元をしっかりとさせ、バランスよく作業できるようにしてください。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止

- 電池パックは、火中への投入、加熱はしないでください。
- 電池パックの端子部を金属など接続させないでください。
- 電池パックを釘・ネジなどの金属と一緒に持ち込んだり、保管はしないでください。
- 電池パックに釘・ネジなどを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
※漏電や感電などで発火の原因になります。
- 当社充電工具専用の指定の充電式電池/パック以外を使用しないでください。
また、改造した電池パックや分解して内蔵部品を交換した電池パックなども使用しないでください。
- 劣化した電池パックは使用しないでください。
※発熱・発火・破裂のおそれがあります。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 当社電池パックは、専用充電器以外では充電しないでください。
※電池の液漏れ、発熱・発火・破裂や充電器の故障の原因になります。
- 本体や充電器から外した状態の電池パックは必ず電池パックカバーを取付けてください。
※取付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
- 電池パックを取付ける前に、スイッチ OFF を確認してください。
※スイッチ ON のままだと事故につながる可能性があります。
- 電池パックは、「UBERMANN」製品以外に取付けしないでください。
- 電池パックを高温場所で充電、使用、保管しないでください。
※電池パックを、周りの温度 50℃以上の場所には保管しないでください。
電池パック劣化要因となり、発火、発煙のおそれがあります。
- 電池パックを油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 電池パックを満充電しても、著しく作業時間が短くなった電池パックは使わないで下さい。
- 電池パックが使用中、使用后熱くなることがあります。火傷の原因となるため注意してください。
- 充電中、充電器や電池パックを布やダンボールなどで覆わないでください。

⚠ 実行

- 電池の液が漏れたときは素手で触らず、以下の処理をしてください。
※液が目に入ったときは失明のおそれがあります。目をこすらずに、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。
※液が身体や衣服に付くと、皮膚の炎症や、けがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師に相談してください。
※液モシした電池パックは、使用を中止し、火に近づかないようにしてください。
すぐに販売店に相談してください。
- 複数の電池パックに渡る連続作業はしないでください。
※本機・電池パックは約 20 分、熱を冷ましてからご使用ください。
- 電池パックは最後までスライドさせ、カチッと音がして外れないことを必ず確認してください。
※守らないと、電池パックが落下し、事故になるおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

●コンセントや配線器具に定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしないでください。
※タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。

●電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください。

●さず・破損・加工・無理な曲げ・ねじり・引っ張り・挟み込む・束ねる・熱器具に近づけたりしないでください。
※傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店に相談してください。

●直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

●本体及び充電器の通気口を塞がないでください。
※火傷をしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。

●本体や充電器の通気口から出る熱風を直接肌に当てないでください。

⊘ 禁止

●作業直後は、先端工具やナット・電子端子に触れないでください。
※高温になっており火傷や切り傷などのおそれがあります。

●改造や分解をしないでください。
※火災、感電、けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

●雨中や、湿ったまたは濡れた場所で、使用したり充電したりしないでください。
※感電や発煙のおそれがあります。

●濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。また、充電器や電池パックも触らないでください。
※感電のおそれがあります。

●使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

●本体、充電器を油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。

ⓘ 実行

●電源プラグは最後の根元まで確実に差し込んでください。
※差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。傷んだコードやプラグ、緩んだコンセントなどは、絶対使用しないでください。

●電源プラグのホコリ等は定期的に除去してください。
※プラグなどにホコリが溜まると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●指定の付属品を利用してください。
※守らないとけがをするおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 使用前に本体、充電器、電池パック、充電器及び先端パーツや、その他の部品が損傷なく正常に作動することを確認してください。
※守らないと破損等によりけがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったら、作業を中断し、温度が下がってから使用してください。
※守らないと火傷をするおそれがあります。
- 屋外で充電するときは、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。また、太さ（導体公称断面積）2.0mm²×長さ10mの延長コードを使用することを推奨します。最高の能率でご使用いただけます。
※守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
- 使用前にコードの破損がないか点検してから、使用してください。電源プラグを持って抜いてください。
※コードを持って抜くと、破断、感電、ショートの原因になります。
- 使用場面に合った延長コードを使用してください。
- USB端子付きの充電器は、USB端子間をショートさせないでください。
※針金などがUSB端子に入るとショートして発煙、発火のおそれがあります。
- 集じん機能があるものは接続して、使用してください。
※これを使用すれば粉じんの人体への負担を減らせます。
- 安全、効率よく作業いただくため本機は、能力に合った作業に使用してください。
※故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機を50℃以上になる場所に保管しないでください。
※動作異常のおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
※けがや事故のおそれがあります。

⚠ 警告

⊘ 注意

- 本機を使用中に振り回さないように、本機を確実に保持して作業をおこなってください。
※けがのおそれがあります。
- 本機の使用中に、異音がしたり、回転不良があった場合は、直ちに作業を中止し、お買い求めの販売店に修理・点検を依頼してください。
※そのまま使用すると事故やけがのおそれがあります。
- 作業をおこなう場所等に、水道・ガス管・電線管などの埋設物が無いことを十分確認してからおこなってください。
※先端工具や本機が触れ、感電・漏電・水道・ガス管漏れの恐れがあり事故の原因になります。
- 本機使用中は、先端工具ソケット等の回転部に手や顔、衣服等を近づけないでください。
※けがのおそれがあります。
- 万一、本機を落としたり、ぶつけたりしたときは、先端工具や本機に破損・ひび割れ・変形が無いことを確認してください。
※使用中に破損したり亀裂・変形で事故やけがのおそれがあります。

⚠ 注意

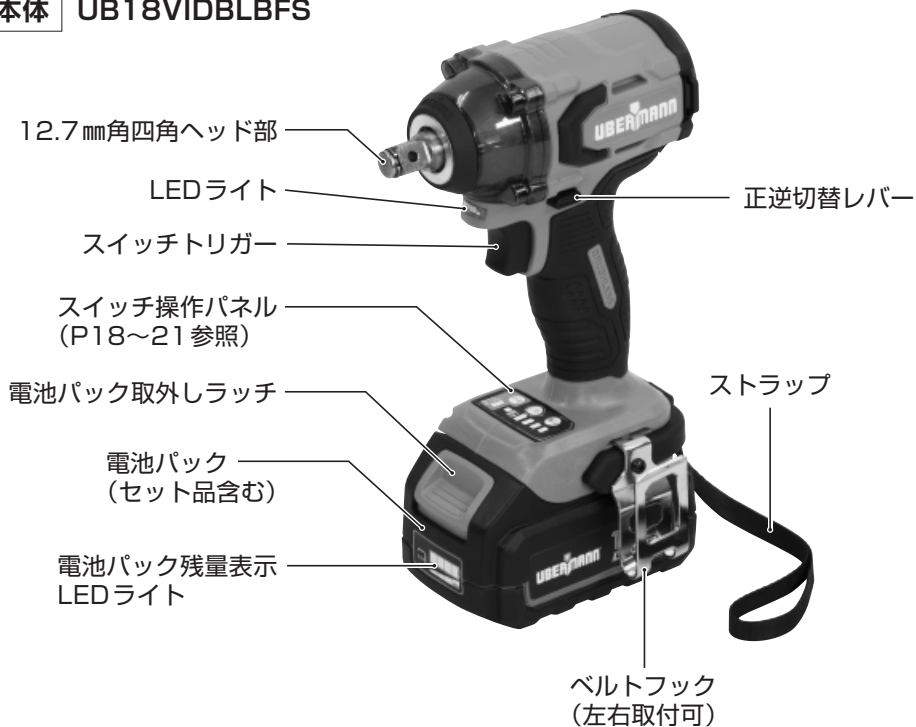
❗ 実行

- 使用中は、先端工具等に手袋（軍手）等が巻き込まれる恐れがありますので、着用しないでください。
※回転部に巻き込まれけがのおそれがあります。
- 本機に取付ける先端工具（ソケット）は取扱説明書に従って、確実に取付けて作業をおこなってください。
※外れたり、遠心力で飛んだりしてけがのおそれがあります。
- 作業前・作業中に、下や近くに人や子供がいないことをよく確かめてください。
※取付けの先端工具や本機が落下した場合、事故やけがのおそれがあります。

各部のなまえとはたらき

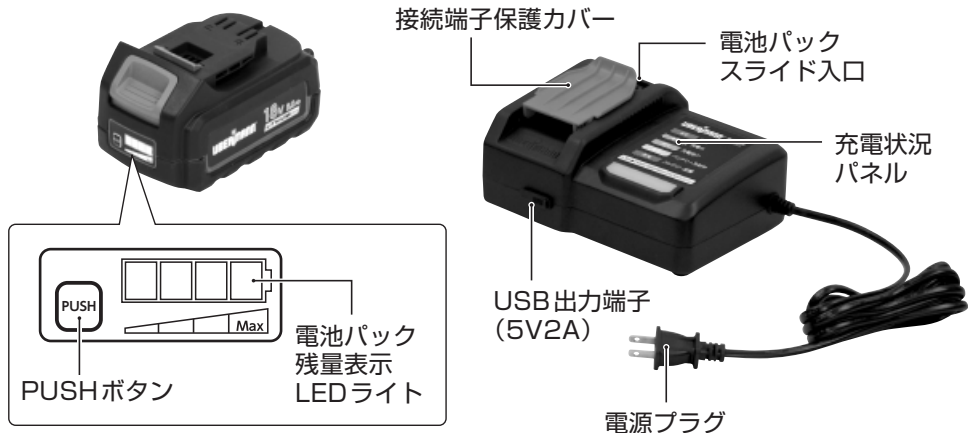
※UB18VIWBL320BPCG セット

本体 UB18VIDBLBFS



※UB18VIDBL50BPCG セット

5.0Ah 電池パック 1個 UB18VBP50 専用充電器 1台 UB18VCG6A



各部のなまえとはたらき

付属品・別売品

※UB18VIWBL320BPCG セット

商品名	付属品数	別売品・品番
本体 	セット品 1 個	UB18VIWBL320BFS (本体のみ別売品有) ケース無箱入
ベルトフック 	セット品 1 個	UB18VIDBF (別売品有)
充電器 	セット品 1 台	UB18VCG6A (別売品有)
5.0Ah 電池パック 	セット品 1 個 UB18VBP50	UB18VBP25 (別売品有) UB18VBP50 (別売品有)
電池パックカバー 	セット品 1 個	UB18VPSF1550 (別売品有)
収納ケース 	セット品 1 個	UBSC5 (別売品有)
取扱説明書	セット品 1 冊	

お知らせ

- 本機 UB18VIWBL320BFS には、各店舗にて別売品電池パックを販売しております。電池パックにより同じ充電器で充電をおこなっても充電時間が異なりますのでご注意ください。

充電器品番 UB18VCG6A	電池パック品番	充電時間 (約)	UBシリーズ 18V全種 使用可能
	UB18VBP25	約35分	
UB18VBP50	約70分		

- 電池パックは充電環境によっては充電されない(0°以下での保管状態など)場合がありますので、ご注意ください。
※電池パックを20°前後の環境に約1時間程温度になじませてから充電をおこなってください。
- 電池パックは使用後の(放電直後)熱い電池パックを充電器で充電すると、充電されない場合がありますので、ご注意ください。電池パックを冷ましてから充電をおこなってください。
※充電器に差し込むと、充電器内部ファンが作動し充電されるまで冷やしますが、その間は充電不可状態のランプ表示されますが、故障ではありませんので、ご注意ください。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電器充電表示ライトの見かた 【UB18VCG6A】

ライト表示	表示内容	参照
赤 赤点灯	通電状態 赤点灯 (電源に差し込んだ状態です) 通電表示。	P.11
緑 緑点滅	充電開始時 緑点滅 電池パックを差し込むと『ピッピッピ』と電子ブザーが鳴り、冷却用ファンが始動します。 通常充電。 充電中 緑点滅	
緑 緑点灯	充電完了 緑点灯 電子ブザーが『ピッピッピ』と鳴る。 緑点灯の充電完了 (目安) 時間は、電池の種類により異なります。 UB18VBP50=約70分、UB18VBP25=約35分	
黄 黄点灯	冷却中 黄点灯 ①電池パックが高温です。 冷却後自動的に充電開始。 ②電池パックが氷点下です。 ※電池パック自体が約0℃以上になると自動充電開始。 電池パック自体を少し温めてから再度充電を行ってください。	
(異常時のライト表示及び表示内容)		
赤 赤点滅	電池故障の場合 赤点滅 ※新品電池パックをお買い求めください。	

冷却用自動ファンについて

- 充電を開始すると自動でファンが作動します。
- 電池パック自体温度が氷点下にあるときは、充電器に差し込むと冷却ファンも同時に作動しますので、充電開始になりません。充電目安として、充電器の環境温度が20℃ならば電池パックを約30分以上経過してから充電器に差し込んで充電を行ってください。

電子ブザーの鳴るタイミング

- 電池パックが正常の場合、充電器に差し込んだ充電開始時に [ピッピッピ] と約4秒間鳴ります。【緑点滅】
- 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯になります。同時に電子ブザーの [ピッピッピ] の音が約4秒鳴ります。

充電の前に

- 充電器は0~40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。(充電する場所との温度差が15℃以内が良い。)
- 電池パックの温度が0℃以下または充電する場所の温度差が大きい場合は十分に充電できない場合があります。その場で長い時間(1時間以上)放置してから充電してください。(電池パックの表面温度と電池パック内部の温度差があるため)

！ 実行

- 電池パックを2個連続で充電を行う時は、充電を約30分以上休止し、充電器の温度が下がってから充電をしてください。
- 充電器はホコリの多い場所や、水や雨にかかる場所で使用しないでください。故障の原因になります。

お知らせ

- この説明書に記載の温度は目安です。実際には条件により、多少のずれが生じる場合があります。

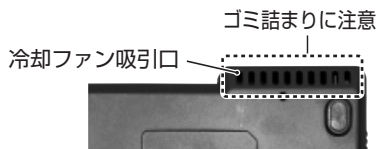
ご使用前の準備 電池パックを充電する

冷却システムについて

- ①電池パックの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより電池パックを効率良く冷却するシステムです。冷却ファン吸引口は送風の音がしますが故障ではありません。
- ②冷却ファンが故障したり、充電器や電池パックのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点灯し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなる場合があります。このようなときは、充電器、電池パックの通気口がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ③充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点灯していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することができます。
※充電器、電池パックの通気口をふさがないでください。
※頻繁に「黄」のライトが点灯するようなときは、点検・修理を販売店にお申し付けください。
- ④充電完了後冷却ファンは同時に止まりません。充電環境温度にもよりますが、満充電電池状態では電池パック自体の温度が上がっているため、ファンは止まりませんが、温度が下がれば自動で冷却ファンは停止します。充電完了同時には止まりませんが故障ではありません。



①充電器本体



②冷却ファンの通気口
(充電器の裏側)



③電池パックの通気口
(電池パック上部)

電池パック残量表示LEDライトの見かた 【UB18VBP50】

- 電池パックLED正面左の残量確認ボタンを押すと使用前、中、後の電池残量が確認できます。

電池パックLED表示	電池電圧残量目安	充電指示状況
点灯	75%～99%	作業良好・保管可能
点灯	50%～75%	作業可
点灯	25%～50%	充電をしてください
点滅	0%～25%	作業中止・充電をしてください

- 電池残量表示LEDライトが1灯点滅のまま作動を続けると、電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といえます。

⚠ 注意

- 電池パックの表示LED点灯数は利用状況や気温などによって実際の表示残量と異なる場合がありますので、目安として参考にしてください。
- 作業開始前後瞬間でもLED残量表示が異なる場合がありますので、作業前には満充電状態から使用されることを望みます。

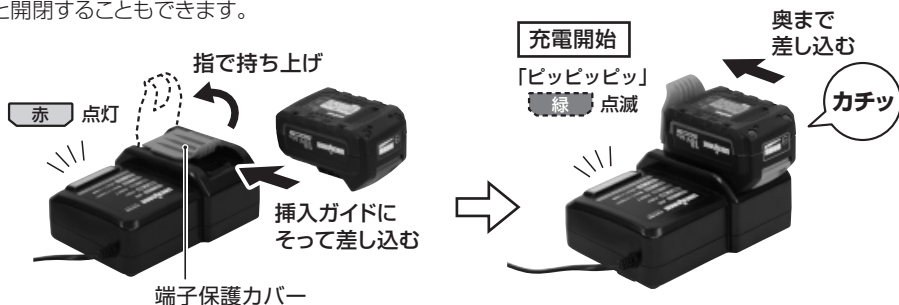
ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電のしかた

- 1 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「赤」の点灯になります。



- 2 電池パックを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電器の端子保護カバーは指で持ち上げるか、電池パック挿入に伴い、ゆっくりと開閉することもできます。



- 3 ①電池パックを挿入すると充電表示ライトが「緑」に点滅し、「ピッピッピ」充電開始電子ブザーが短時間流れ、充電を開始します。① **緑点滅** +ピッピッピ… 数秒
- ②充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了電子ブザーが鳴ります。② **緑点灯** +ピッピッピ… 数秒
- そのまま電池パックを挿入しておけば冷却します。
※充電時間は周囲温度(10℃~40℃)や電池パックの状態(新品・長期保存電池パックや寿命に近い電池パックなど)により変動します。
- ③充電完了後すぐに使用しない場合は、電池パックの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約1時間です。
- ④電池パックを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

LED表示ライト



ご使用前の準備 電池パックを充電する

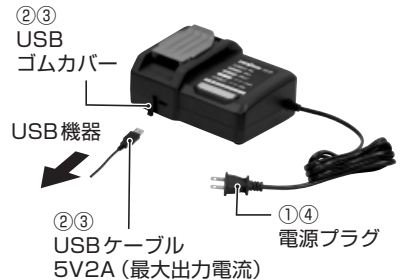
USB 電源端子への接続

⚠ 注意

- 本機充電器は、様々なUSB機器の外部電源としても使用することができます。
(最大出力電流は5V2A)
次の注意事項をお読みの上、正しくお使いください。
- 本機充電器は、専用電池パックを充電しながらでも、USB電源の利用が可能です。
- 万一の場合に備えて、ご使用になるUSB機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。
※接続したUSB機器の内部データが(予測できない問題により)破損・消失する可能性があります。
- USB機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- 5V2Aを超える出力電流を必要とするUSB機器は、充電器に接続しないでください。
USB電源端子の最大出力電流は、5V2Aです。
※使用接続機器や本機故障の原因になるおそれがあります。
- 充電器との接続には、USB機器付属のUSBケーブルをご使用ください。【市販品をお買い求めください。】
- 使用後は充電器正面のUSBゴムカバーを戻してください。
※USBゴムカバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し、充電器の故障につながります。

【使用手順】

- ① 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ② 本体正面のカバーをはずして、USBケーブルでUSB機器と充電器を接続してください。【市販品】
- ③ 使用後は、USB機器、USBケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
- ④ 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

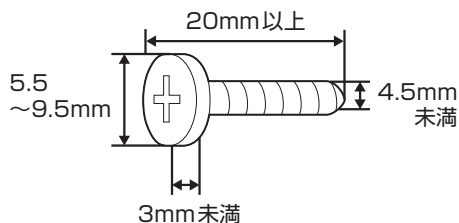
⚠ 注意

- 壁に取付けて使用する場合は、必ず吊り下げ用ネジ2本で本機の裏面のネジ穴に確実に吊り下げてください。
※落下して破損したり、けがの原因になります。
- 充電器の取付け作業をするときは、電池パックを抜き取り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。
- 充電器を壁に取付け後は、電池を抜き取るときに充電器が落下することがありますので、必ず充電器上部に固定ネジを打ち込んで、充電器が外れないようにしてください。
- 壁に取付ける場合は、充電器の重さに電池パックの重さが加わり約1.5kgになりますので、取付ける場所が耐荷重に耐えられるか確認し、不足の場合は取付け場所を十分補強してください。
- 壁掛けした充電器に電池パックを充電したり、取外しの際は動作を途中でやめないでください。電池パックが落下したり、充電器が壁より外れたりして危険です。
- 壁取付けのネジは定期的に緩んでいないか、しっかり固定されているか確認してください。

充電器の壁掛けの準備

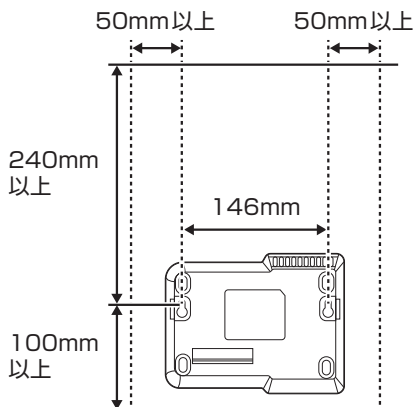
1) 用意するもの(市販品でご用意ください)

- ①木ネジ(吊り下げ用) 4mm×20mm以上=2本
- ②木ネジ(充電器固定ネジ) 4mm×30mm以上

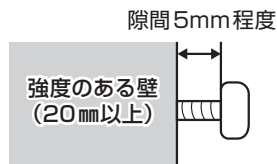


2) 吊り下げ用ネジの取付け

- ①取付けの壁面が凹凸等の障害物がないこと、また壁内や裏に電気配線や通信配線、ガスの配管等がないことを確認してください。



- ②充電器の他電池パックを差し込んでもネジが抜けにくい強度のある壁面に取付けてください。

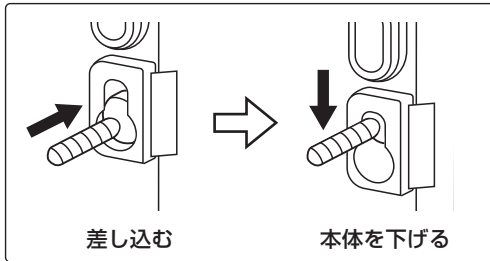


ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

3) 充電器の取付け

吊り下げ用ネジに本機充電器裏面のネジ穴を2ヶ所あわせて、ネジが穴に入った後に引っ掛けて充電器を下に下げてください。4mm×20mm以上ネジ

※壁面ネジ2個と充電器ネジ穴2個が、引っ掛かっていることを確認してください。



【充電器裏側】

吊り下げ用ネジ穴

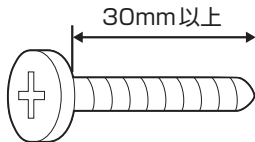
木ネジ (4mm×20mm以上)

4) 充電器を固定する

充電器がより安全に壁面に固定、保持できるように固定用ネジを図のように締め込んでください。

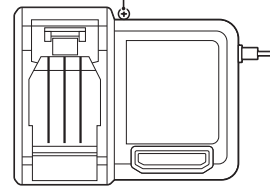
※本機を破損させないようにネジを打ち込んでください。(市販品ネジ)

使用例 4mm×30mm以上ネジ



【充電器表側】

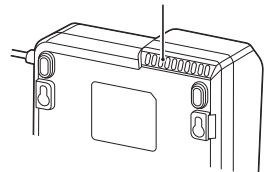
固定ネジ (30mm以上)



5) 充電器の日常点検

- ①日頃から安全に効率よくお使いいただくために日常定期点検を行ってください。
- ②充電接続端子等のゴミやホコリの撤去をする。
柔らかいブラシでまたはエアダスターなどを使用して清掃してください。
- ③冷却ファン吸引口は常にゴミやホコリを避けて使用してください。

冷却ファン吸引口



6) 保管について

- 子供の手の届かない場所、鍵の掛かる場所に保管してください。
- 湿度の高い場所や温度が急変する場所に保管はしないでください。
- 雨水の掛かる場所は絶対に避けて保管してください。
- 直射日光の当たる場所での保管はしないでください。
- 揮発性物質に近い場所に保管しないでください。

ご使用前の準備 先端工具の取付け・取外しかた

⚠ 警告

- 先端工具の取付け、取外しの際は必ず電池パックを本機より取外してください。
※万が一本機が作動してけがのおそれがあります。

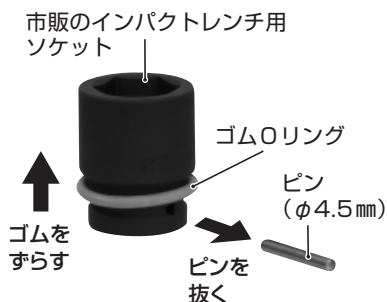
⚠ 注意：実行

- ボルトやナットに合った先端工具を必ず使用してください。
- ソケットの使用前と使用後に、ソケット自体と本機の取付け部分に、欠け・ひび割れ・変形等の異常がないか確認してください。
※飛散したりしてけがのおそれがあります。

1. ソケットの取付けかた

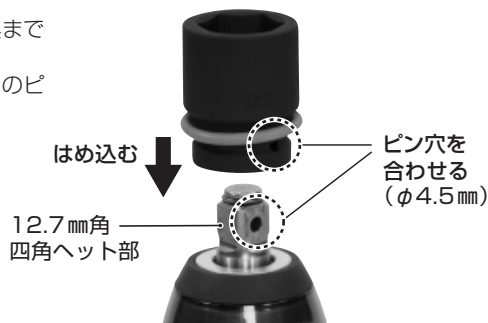
◎市販のインパクトレンチ対応ソケットをご使用ください。

- ①市販ソケットの溝にはまっているゴムOリングをずらし、ピン（抜け防止ピン）を抜き取ります。



- ②市販ソケットを本機 12.7mm角四角ヘット部に奥まで確実に差し込みます。

※市販ソケットのピン穴と 12.7mm角四角ヘットのピン穴の向きを合わせてください。



- ③市販ソケットを 12.7mm角四角ヘットに差し込んだ状態でピンをピン穴に差し込み、ゴムOリングを溝にはめ込んでください。

※本機先端ピン穴径は 4.5mm のものをご使用ください。
(市販品)



2. ソケットの取外しかた

取外しは取付けの逆手順でおこなってください。

ご使用前の準備 フックの取付け・取外しかた

3. ベルトフックの取付け・取外しかた

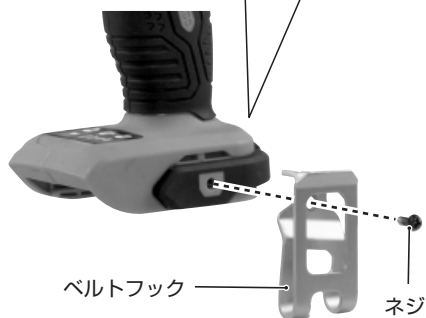
- 取付けるときは、本機の溝にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちら側にも取付け可能です。
※本体の内側両サイドにネジ専用ナットが埋め込まれています。
- 取外すときは、ネジをゆるめてからフックを外します。
- ベルトフックは別売品として販売しています。

品名	品番
ベルトフック	BU18VIDBF

別売品をお求めの場合は、別売店へご相談ください。

⚠ 注意

- フックを取付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。
ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。
- フックはベルトの幅、太さによって完全に保持できない場合があります。
十分に保持できることを確認の上、ご使用ください。
※特に高所作業では、本機の落下で事故やけがのおそれがあります。



電池パックは外した状態で行ってください。

ご使用方法

1. 正逆切替ボタンの操作

- 正逆切替ボタンのA側を押すと右回転（正転）し、B側を押すと左回転（逆転）します。
- 正逆切替ボタンを中間の位置にすると、スイッチトリガーが引けなくなります。（安全ロック位置）



⚠ 注意

- ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、正逆切替ボタンを中間のロック位置にしておいてください。

2. スイッチトリガーの操作

⚠ 警告

- 本機に電池パックを差し込む前に、正逆切替ボタンが中央のロック位置にあることを必ず確認してください。
※スイッチを入れたまま電池パックを差し込むと急に動き出し、事故やけがの原因になります。



正逆切替ボタン [A側] 矢印 を押す 正回転（右回転）

正逆切替ボタン [B側] 矢印 を押す 逆回転（左回転）

- スイッチトリガーを引くと回り、放すと止まります。
無段変速機能付スイッチ。
- スイッチトリガーの引き加減により、お望みの回転数および打撃数が得られます。



ご使用方法

3. 打撃力の切り替え

一度スイッチトリガーを引いてから操作します。

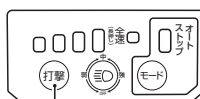
【正回転】

- **打撃** ボタンを押す度に打撃力を4段階に切り替えます。打撃力はLED表示で確認できます。作業シーンに合わせて適切な打撃力を選んでください。

打撃モード



【本体操作パネル】



打撃ボタン



【逆回転】

- 正回転と同じく **打撃** ボタンを押す度に打撃力を4段階に切り替えます。打撃力はLED表示で確認できます。作業シーンに合わせて適切な打撃力を選んでください。

スイッチ操作を約1分間おこなわないと操作パネルのLED表示は消灯します。

※再びスイッチ操作をすると、設定されていた打撃モードより開始します。

操作パネル (●=点灯)	●点灯数	締め付けトルク	使用例
最強 	4	320N・m	パワーやスピードを優先したい作業。 例) 鉄骨の組み立てなど。
強 	3	240N・m	最速モードほどの打撃力を必要としない一般作業。 例) 足場の組み立てなど。
中 	2	180N・m	仕上がりを重視する必要がある作業。 例) タイヤ交換の仮締めなど。
弱 	1	120N・m	締め過ぎるとナットが破損してしまうため、力を抑える必要がある作業。 例) 家具などの締め付けなど。

ご使用方法

⚠ 警告・注意

※車のタイヤ交換に使用する場合注意してください。

取外しの場合

本機を使用しタイヤホイールナット取外しは可能ですが、回転（打撃モード）を調整してナットを取外してください。

※必ず逆回転で使用してください。ボルトが折れる可能性があります。

取付けの場合

取付けには特にご注意ください。

※締付打撃モードが強すぎたり、打撃を長く与えるとボルトが折れる可能性がありますので、ご注意ください。

①ナットの取付けの場合は、打撃モードは弱でご利用ください。

②締めている最中に本機が打撃したら（1～2秒）本機を中止し、市販の専用トルクレンチで車に合った指定トルクで締め付けてください。

※長時間本機の打撃でナットを締め付けしないでください。

※締付トルクで閉めないで事故やけがのおそれがあります。

⚠ 注意 車のタイヤ交換に使用する場合の注意

●本機を使用し、タイヤボルト取外しは可能ですが、回転（打撃モード）を調整してください。

打撃モード「強」を使用しない

●本機を使用し、タイヤボルトを取付ける場合は回転（打撃モード）を強以上で使用しないでください。

※強すぎてボルトが折れることがあります。

本締めには使用しない

●本機を使用したタイヤボルトの締め付けは仮締め（中・弱）で使用し、打撃1～2回でスイッチを止めて、必ず車個別に合うようにトレーサビリティ証明書付トルクレンチを使用して締め付けてください。

ご使用方法

4.LEDライトを調整する

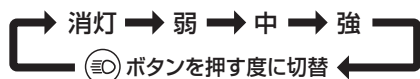
⚠ 注意

- LEDライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
※LEDライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

一度スイッチトリガーを引いてから操作します。

※スイッチトリガーをはなしてから10秒以内に(☉)ボタンを押してください。

- 操作パネルの(☉)ボタンを押す度にLEDライトの明るさが、消灯(OFF)、弱、中、強と切り替わります。



※ライトモード明るさ切替 OFF → 弱 → 中 → 強のリターン式です。

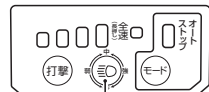
- スイッチトリガーを引くと設定した明るさでLEDライトが点灯します。スイッチトリガーを放すと約10秒で消灯します。

※消灯設定の場合はスイッチトリガーを引いてもLEDライトは点灯しません。

LEDライト



【本体操作パネル】



ライトボタン

⚠ 注意

- スイッチトリガーを引き、LEDライトが点灯すればON状態、消灯設定の場合は点灯はしません。
- スイッチトリガーを引いている間は切り替えできません。
- スイッチトリガーを放してから10秒間切り替え可能です。
- 本機が高温になった場合にLEDライトが点滅します。本機を冷ましてください。故障ではありません。
- 電池残量が過放電状態になると、本機が停止し本体のLEDライトが点滅しますが、故障ではありません。電池を充電してください。

ご使用方法

5.オートストップモード

◎本機には一定の条件で自動停止するオートストップモードが搭載されています。オートストップモードは3種類あります。

【オートストップモードの設定方法】

一度スイッチトリガーを引いてから操作します。

操作パネルの(モード) ボタンを短く押してオートストップモードの1・2・3を切り替えてください。

※(モード) ボタンを長押しすると全速モードのON・OFF切り替えになります。



■正回転時【オートストップ1・2・3】

無負荷では回転は止まらずに作動し続けます。
負荷がかかると瞬時に回転は停止します。

■逆回転時【オートストップ1・2】

無負荷で瞬時に回転停止。

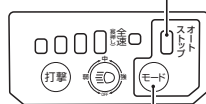
■逆回転時【オートストップ3】

無負荷で瞬時に回転停止。
回転停止後に穏やかに回転継続。

スイッチトリガー



オートストップモードLED



モードボタン
短く押して切替

操作パネル (●=点灯)	正転時	逆転時	用途・備考
オートストップ1 	無負荷だと連続回転 過負荷で瞬時停止	無負荷でも連続回転 過負荷で停止	足場・クランプネジナット・ タイヤ交換の仮止め等
オートストップ2 	無負荷だと連続回転 過負荷で瞬時停止	無負荷でも瞬時停止 過負荷で停止	普通車・配管等の仮締め等
オートストップ3 	無負荷だと連続回転 過負荷で瞬時停止	無負荷で瞬時停止作動 過負荷で停止・作動	鉄骨材・建設物等の仮締め

※回転数・打撃数は打撃モード「最強」と同じです。

※用途は目安です。本作業前に締め・ゆるめのテストをおこなって確認をしてください。

【オートストップモードの解除方法】

(打撃) ボタンを押すとオートストップモードは解除され、前回設定した打撃モードになります。

ご使用方法

6. 全速モード

○全速モードを使用するとスイッチトリガーを少し引いた状態で設定した打撃力の全快回転数に到達します。

【全速モード設定方法】

一度スイッチトリガーを引いてから操作します。

Ⓜ ボタンを長押しします。全速モードLED表示が点灯します。

【全速モード解除方法】

一度スイッチトリガーを引いてから操作します。

Ⓜ ボタンを長押しします。全速モードLED表示が消灯します。

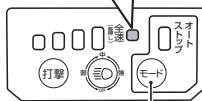
全速モードは打撃4段階・オートストップモード、3モードのいずれの設定でも使用できます。

※正回転・逆回転どちらでも設定できます。

スイッチトリガー



全速モード
点灯：ON
消灯：OFF



モードボタン
長押しで切替

7. 使用方法の注意事項

- *電池パックの電圧が低くなるに従って、締付トルクも下がりますので、満充電の電池パックをご使用ください。
 - *使用の先端工具は、ボルトに合った工具を使用しないと、締付トルクは低下します。また摩耗していたり、変形していても締付トルクは低下しますので、点検をおこなってください。
 - *本機作業中の保持の仕方によっても締付トルクは変化しますので、しっかりと保持固定し作業をおこなってください。
 - *ボルトのサイズや径でも、メーカーや仕上げ等によっても、締付トルクは異なりますので、ご注意ください。
 - *本機トリガーの最大に引き込まない状態で作業すると、締付トルクは低下しますので、ご注意ください。
 - *本機自体が熱く高温になると、保護機能が作動して自動停止しますが、故障ではありません。電池パックを外して、本機を冷ましてからご使用ください。
 - *連続使用中の電池パックが放電による高温になると、保護機能が作動して自動停止しますが、故障ではありませんので、電池パックを冷ましてからご使用ください。
 - *本機の作業状態が過負荷であると、本機保護の為自動停止します。故障ではありません。過負荷な箇所を取り除いてご使用ください。
 - *使用中の電池パックの電圧が下がると、本機は電圧不足で自動停止します。故障ではありません。電池パックを取外し、充電をおこなってください。
- 修理はご自身で分解、改造をおこなわないで、必ず販売店にお持ちになってご相談ください。

電池パック・充電器について

電池パックについて

- 下記の状態となった場合、特に電池パック寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - 高温充電の繰り返し……連続作業後の放電による熱い電池パック充電など。
 - 低温充電の繰り返し……0℃以下からの急な充電など。
 - 満充電電池パックの再充電の繰り返し
 - 過放電の繰り返し（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。）

電池パックを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら作業を中止して、充電してください。
- 満充電した電池パックを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなった電池パックは、充電器に差し込む前に冷却してから充電することをおすすめします。
- 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオン電池パックは満充電してから保管することをおすすめします。
- 冬期間の0℃以下の電池は直ぐに充電せず、少し温めてから充電することをおすすめします。

電池パックのリサイクルについて

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。廃棄の際は下記の手順を参考にして販売店にお持ちください。
- 電池パックの接続端子をショートさせないように、電池安全カバーを付けるか、テープ等で絶縁をする。電池パックは最寄りの販売店かリサイクル協力店にお持ちください。



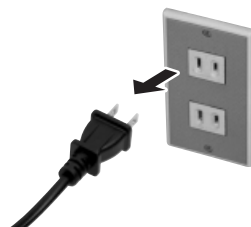
お手入れ・保管

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外して行ってください。
※ 不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40℃以上になる場所での保管はしないでください。
※ 電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※ 子供が間違えて使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- やわらかい布でふく、濡れた布や、シンナー・アルコール・ベンジンなどの揮発性のものは使用しない。
- 本体や部品装着品のネジの緩みがないか確認する。緩みがある場合は、締め直してください。
※ ネジの締め過ぎ、付属品等の無理な押し込み、収納は破損のおそれがあります。
- 油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹸水を付けた布をかたくしぼってから本機をふいてください。
※ 本機は防塵・防水ではありませんので、ゴミ・ホコリ・雨水等を侵入させないでください。
- 充電器や本機の通風口をやわらかいブラシ等で軽くゴミを取り除く。
- 充電器の接続端子や電池パックの接続端子のゴミをやわらかいブラシ等で取り除いてください。



付属品のお手入れ

- 各種アタッチメントは本体やケースなどに適正な保管場所が装備されていますが、簡易的な収納ですので作業環境によって邪魔になる場合や、紛失の可能性もありますので別途収納袋等に各自保管してください。
- 各種市販のアタッチメントは、材質や形状違い、長短・刃物形状違い等がありますので、摩耗状態などをよく確認して、無理な使用はしないでください。破損に注意して取付けや保管をお願いします。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温になる場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 子供の手の届く場所。
- ゴミやホコリの多い場所。
- ガソリン・揮発性の高い引火物が有る場所。

故障かな?と思ったときに

修理を依頼される前に一度下記項目を点検してください。

○充電のとき

状態	原因	処理
●充電器の通電赤LEDが点灯しない。	●コンセントに通電されていない。	●別のコンセントで試してください。
●充電器の充電中、緑LED点滅にならず充電されない。	●充電器と電池パックの接続がされていない。	●奥までカチッと音がするまで差し込んでください。
	●電池が高温の為に充電されない。	●黄色LED点灯中は充電ができないので、ファンで冷却後に自動充電され、緑点滅LEDに変わります。
●充電器が赤点滅LEDを表示して充電が開始されない。	●作業後直後の熱い電池を充電した為。	●新品電池を別途お買い求めください。(販売店まで)
	●電池が過放電状態になっていて充放電が出来ない状態です。	

○作業のとき

状態	原因	処理
●本機が動かない。	●電池パックが正常に本機に取付けられていない。	●電池パックを奥まで差し込んでください。
	●電池電圧が少ない。	●作業を中止し、電池の充電をおこなってください。電池パックの残量表示LEDライトを確認してください。
	●連続使用による本機の高温状態で自動停止したため。	●本機安全措置による自動停止、冷してからご使用してください。 故障ではありません。
	●保管及び環境温度が0℃以下で使用温度以下のため。	●電池パックを20℃環境下で1時間程温めてからご使用ください。 故障ではありません。
	●正逆切替ボタンが安全ロックの位置にありますか。	●本機の正逆切替ボタンをどちらかに押してスイッチトリガーを引いてください。
	●作業時の過負荷によって自動停止保護機能作動が作動したため。	●過負荷の原因を取り除いてください。 故障ではありません。
●回転が上がらない。	●水没や雨水が内部に浸透し故障。	●販売店に商品をお持ちの上、修理依頼をおこなってください。
●打撃が弱い、強い。	●電池電圧が少ない。	●電池の充電をおこなってください。
●作動時スイッチからの異音。	●本機スイッチトリガー引き込みの電子音(ピー)になる。	●本機の回転制御による音です。 故障ではありません。

故障かな?と思ったときに

状態	原因	処理
●満充電しても作業時間が短くなった。	●電池活性化が悪いか、電池の寿命です。	●満充電しても、著しく作業時間が短くなったら電池の寿命です、新品電池パックをお買い求めください。

- 上記記載されている処理をしても改善が見られない時は、本体・充電器・電池パックをセットで、販売店に修理の依頼をお申し付けください。

警告

点検・整備の作業前には、必ずスイッチを切り、本機より電池パックを抜いてください。

※電池パックを本機に差し込んだまま行くと、事故やけがのおそれがあります。

仕様

●インパクトレンチ UB18VIWBL320BFS

電動機	DC ブラシレスモーター
電池パック	リチウムイオン電池パック 5.0Ah
入力電圧	DC18V
無負荷回転数 (回転/分)	弱:0~1,000 中:0~1,800 強:0~2,600 最強:0~3,200min ⁻¹
無負荷打撃数 (回転/分)	弱:0~1,800 中:0~2,600 強:0~3,400 最強:0~4,000min ⁻¹
締め付けトルク	弱:120N・m 中:180N・m 強:240N・m 最強:320N・m
最大締め付け能力(最大値)	普通ボルトM10~M20/高力ボルトM10~M16
先端形状	12.7mm角 (1/2DR)
本体サイズ (約)	長さ144×幅77×高さ197.5mm
質量 (約)	1.18Kg (電池パック除く)
振動3軸合成値	13m/s ²
1充電当たりの作業量 (目安)	電池パック5.0Ah使用時 高力ボルトM16約420本

*振動3軸合成値についての詳細はJEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト
<http://www.jema-net.or.jp/japanese/pis/powertool.html>を参照ください。

別売品仕様

●6A充電器 UB18VCG6A

入力電圧	単相交流100V			
入力周波数	50-60Hz			
入力容量	250VA			
電池パック充電端子	出力電圧	DC18V	出力電流	DC6A
USB電源端子	出力電圧	DC5V	出力電流	DC2A
	端子形状	USB A型		
本機寸法 (約)	長さ179.3×幅142.7×高さ94.9mm			
質量 (約)	0.84Kg			

●2.5Ah電池パック UB18VBP25

本機寸法 (約)	長さ118.5×幅76.4×高さ53.5mm
質量 (約)	0.39Kg

●5.0Ah電池パック UB18VBP50 (付属品1個)

本機寸法 (約)	長さ119.9×幅76.5×高さ68.7mm
質量 (約)	0.65Kg

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

修理について

警告

- 保守、点検の際は、必ず電池パックを本機より取外してください。
※電池パックを取付けたまま行くと、不意に作動して事故の原因になります。
- 修理の際は、自分で分解・修理しないで、必ずお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料（修理検知）有料（商品によって異なります）
- ◎技術料：有料⇒診断・故障場所・修理・調整・修理後の点検作業、その他にかかる手間代、費用。
- ◎部品代：有料⇒修理に使用した部品・及びその他補助材料代です。
- ◎返送運賃：有料⇒最寄りの店舗までの商品返却代です。

販売元

株式会社 コメリ

新潟県新潟市南区清水4501-1

お客様問合せ窓口：Tel. 025-371-4805

